



技術者平均年齢24.5歳の挑戦！CIM×建設用3DP活用最前線
(総合評価)3・3・5中山石見線道路改築(その22)工事における先端技術の活用について

技術者平均年齢24.5歳の挑戦！CIM×建設用3DP活用最前線
(総合評価)3・3・5中山石見線道路改築(その22)工事
における先端技術の活用について

吉村建設工業株式会社

2026年1月28日

第11回京都府建設DX推進プラットフォーム会議



Yoshimura Construction co.,ltd.

AGENDA

- 1.吉村建設工業の紹介
- 2.総合評価) 3・3・5 中山石見線道路改築 (その22) 工事の概要
- 3.現場で活用している先端技術(3次元データ、ICT、3DP、etc)
- 4.今後の取り組み・課題について
5. Q&A

1. 吉村建設工業について

Yoshimura



京都二条1920年代頃

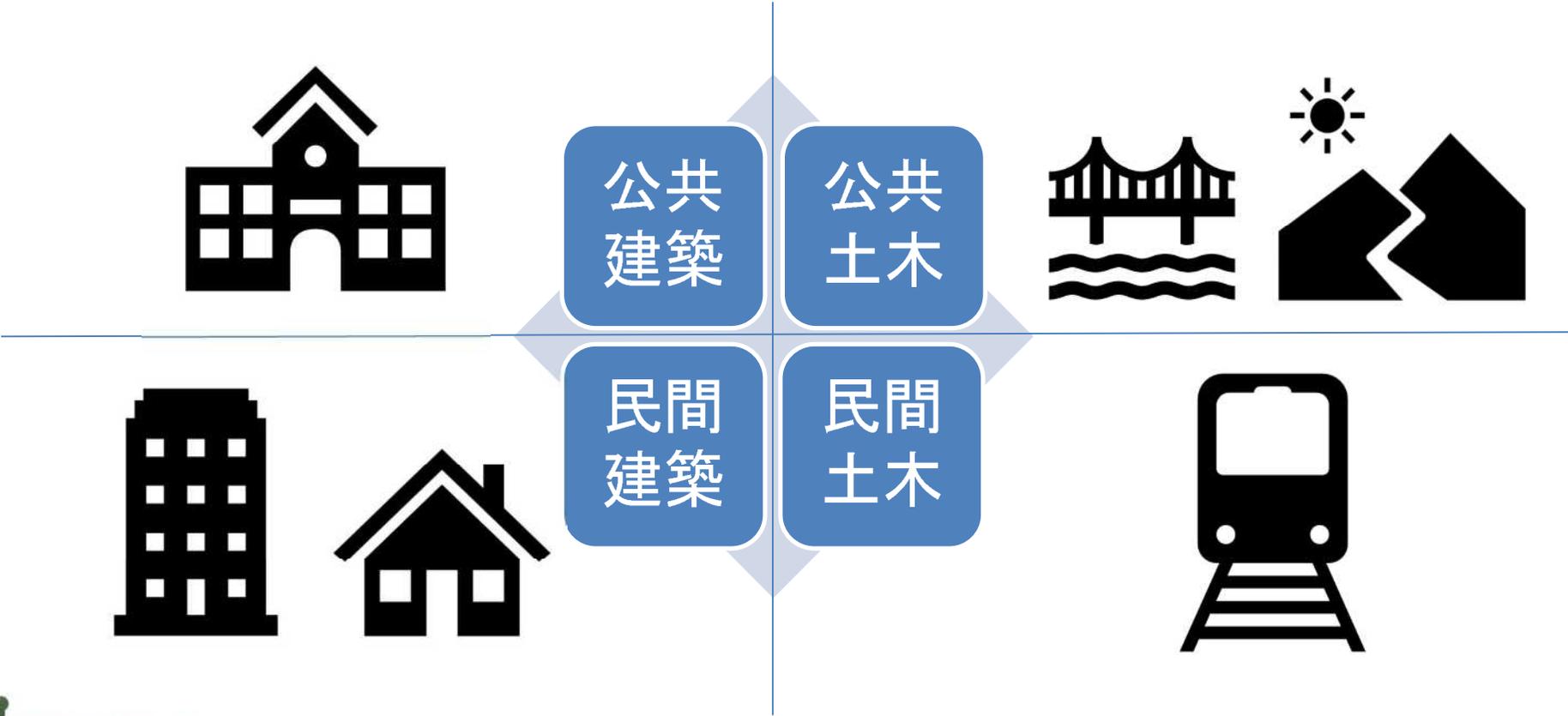
京都市電など、鉄道の軌道敷に敷設されていた板石の取り扱いをきっかけに、次第に鉄道工事そのものを手がけるようになった。 3

1.吉村建設工業について

- ▷ 創業年：1908年
- ▷ 会社設立：1954年
- ▷ 資本金：7,500万
- ▷ 社員数：65人
- ▷ 業務内容：総合建設業（土木/建築/メンテナンス）
- ▷ 売上高：約60億円
- ▷ 売上比率：土木：建築：メンテナンス＝4：4：2
- ▷ 取引先：官公庁、学校法人、鉄道会社
- ▷ 主な特徴：地域密着型の総合建設会社

Yoshimura

吉村建設工業の仕事の分類



時代と共に業態を少しずつ拡張してきた

新しもの好きの企業風土

土木工事



インフラメンテナンス
(鉄道/高速道路) 事業



石材問屋



建築工事



Yoshimura



Yoshimura

(総合評価)京都市立呉竹総合支援学校施設整備工事
ただし、体育館・管理棟ほか建築主体その他工事







Yoshimura JR西日本 奈良線 複線化工事 (山城多賀～玉水間)



Yoshimura

メンテナンス (鉄道)



Yoshimura

メンテナンス (道路)



社員の平均年齢:40歳

男女比 :4:1

10代から70代までの老若男女の社員が様々な現場で働いています

Yoshimura

2. (総合評価) 3・3・5中山石見線道路改築(その2)工事について

2. (総合評価) 3・3・5中山石見線道路改築(その22)工事



(総合評価) 3・3・5中山石見線道路改築(その22)工事について

工 事 名 : (総合評価) 3・3・5中山石見線道路改築(その22)工事

工 事 場 所 : 京都市西京区大原野石見町地内

工 期 : 自 令和6年8月21日 至 令和8年2月21日

発 注 者 : 京都市 建設局 道路建設部 道路建設課

施 工 概 要 : 工事延長 : 167.3m、道路土工 : 一式、場所打擁壁工 : 126.9m³
プレキャスト擁壁工 : 157.3m、ジ行打タル補強土壁工 : 157.4m
プレキャストカルバート工 : 72m、排水構造物工 : 一式

PROFILE-波多野 宏紀-



波多野 宏紀

誕生日：1991/9/25（33歳）

出身地：京都市

趣味：サッカー観戦

沿革

関西大学環境都市工学部を卒業後、吉村建設工業株式会社に入社。ポンプ場築造工事を皮切りに、河川、鉄道、推進工事などの土木工事に携わる。近年は主に鉄道および上下水道工事の監理技術者を担当。現在は京都市発注の道路改築工事にて、**CIM**をはじめとする**3次元モデル**、**3Dプリンタ**などの技術を取り入れた施工管理に従事。現場を管理する中で、ICT施工の外注コストに疑問抱き、**内製化**を模索。これらの技術を活用し、品質・施工性・安全性の向上に取り組んでいる。

PROFILE



森下 勇樹

誕生日：2000/5/8（25歳）

入社3年目

出身地：滋賀県

担当：測量（快測ナビ）

趣味：競馬、麻雀

一言：父親も3年目！

頑張ります。



印口 歩夢

誕生日：2005/5/17（20歳）

入社2年目

出身地：京都府

担当：3Dプリンタ

3次元モデル作成

趣味：ドライブ、写真

一言：後輩に負けないように

頑張ります。



上茶谷 龍聖

誕生日：2006/9/9（18歳）

入社1年目

出身地：京都府

担当：現場・写真管理

趣味：ラグビー

一言：毎日、

元気に頑張ります！

主な工種について



プレキャストカルバート工
(4分割 4600×5100×24000)



ジオテキスタイル補強土壁工
(アダムウォール工法)

アダムウォール工法について



アダムウォール工法の概要

川を渡る橋へつながる道路の“土の台（盛土）”を、外側のコンクリート壁と土の中の強いベルト（補強材）でしっかり固める工法です。

土の中にベルトを何段もはさみ、土そのものを大きな“強いブロック”にします。

仕組み

- ・外側の壁（コンクリートパネル）：見える部分。形を整え、土を保護します。
- ・土の中のベルト（補強材）：水平に何段も入れて、土と一体になって踏ん張ります。
- ・水の通り道（排水層）：壁の内側に石の層を設け、雨水をため込みません。

イメージ：土 → ベルト → 土 → ベルト…と重ね、外側をパネルで仕上げる“ミルフィーユ”構造

“ベルト”=補強材（ジオグリッド/グリッドベルト）

“排水層”=石の層（壁体内の水を逃がす道）

Yoshimura

アダムウォール工法について

